

大町自治会会員 各位

大町自治会
会長 高松光子

令和3年 防災の日と防災週間

過去に経験した大きな災害をきっかけに、地域の防災行動力を維持向上させるため、閣議で「防災の日」「防災週間」を定めました。大切な命を守るため地震に対する備え、ポイント等を確認しましょう。

期 間 防災の日 9月 1日(水)
防災週間 8月30日(月)～9月5日(日)

◆リモート防災学習

防災訓練動画の視聴で「おうちで防災を学ぼう！リモート防災学習」

- ①消火器の使い方 ②避難のしかた ③119番通報のしかた ④スタンドパイプの使い方

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/camp/2021/202108/camp1.html#camp1-an01>



消火器の使い方



避難のしかた



119番通報のしかた



スタンドパイプの使い方



◆事前に「地震に対する10の備え」、地震時は「まず身の安全」を守りましょう！

地震 に対する 10の備え



身の安全の備え

家具類の転倒・落下・移動 防止対策をしておこう

- けがをしたり、避難に支障がないように家具を配置しておく。
- 家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をしておく。



けがの防止対策 をしておこう

- 食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。
- 停電に備えて懐中電灯をすぐに使える場所に置いておく。
- 散乱物でケガをしないようにスリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。



家屋や塀の強度を 確認しておこう

- 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないように補強しておく。



初動対応の備え

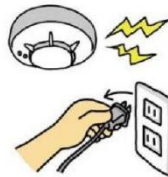
消火の備えを しておこう

火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置き（濡れ防止のため子どもだけで浴室に入れないようにする）をしておく。



火災発生時の早期発見と 防止対策をしておこう

- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置しておく。
- 普段使用しない電気器具は、差込みプラグをコンセントから抜いておく。
- 電気に起因する火災の発生を抑制するため、感震ブレーカー（分電盤型）などの防災機器を設置しておく。



非常用品を 備えておこう

- 非常用品は、置く場所を決めて準備しておく。
- 冬の寒さなど、季節を考慮した用品を備えておく。
- 車載ジャッキやカーラジオなど、身の周りにあるものの活用を考えておく。
- スマートフォンの予備バッテリー（PSEマーク付）など、必要な電源を確保しておく。



確かな行動の備え

家族で 話し合っておこう

- 地震が発生した時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- 外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決めておく。
- 家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- 台風等の風水害が同時期に発生した場合を想定しておく。
- 普段のつき合いを大切にするなど、隣近所との協力体制を話し合っておく。



地域の危険性を 把握しておこう

- 自治体の防災マップ等で、自分の住む地域の地域危険度を確認しておく。
- 自宅や学校、職場周辺を実際に歩き、災害時の危険箇所や役立つ施設を把握し、自分用の防災マップを作っておく。



防災知識を 身につけておこう

- 新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- 消防署などが実施する講演会や座談会に参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。
- 大きな地震の後に同程度の地震が発生する可能性があることを理解しておく。



防災行動力を 高めておこう

日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身に付けておく。



地震

その時10のポイント

地震時の行動

地震だ！ まず身の安全

- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

【高層階（概ね10階以上）での注意点】

- 高層階では、揺れが数分続くことがある。
- 大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。



地震直後の行動

落ちついて 火の元確認 初期消火

- 火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- 出火した時は、落ちついて消火する。



あわてた行動 けがのもと

- 屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



窓や戸を開け 出口を確保

揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保する。



門や塀には 近寄らない

屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



地震後の行動

火災や津波 確かな避難

- 地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難する。
- 沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。



正しい情報 確かな行動

ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



協力し合って 救出・救護

倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



避難の前に 安全確認 電気・ガス

避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。

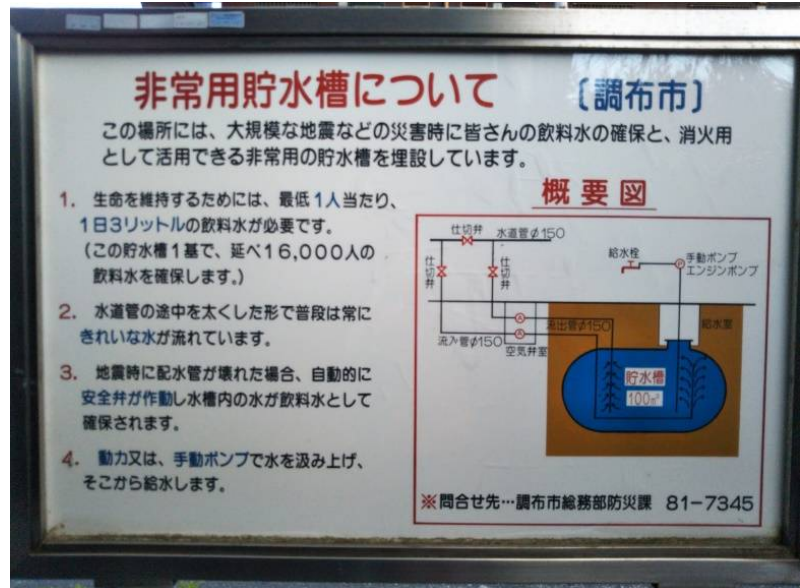


◆お知らせ

「非常用貯水槽」について

品川通りの菊野台交差点から南側約50mの道路の下に、地震等の非常時に汲み上げて給水が受けられる「非常用貯水槽」が設置されています。

今、品川通りの車道に耐震水道管を新設していますが、この工事により「非常用貯水槽」が撤去されることはありませんので、非常時には今まで通り貯水槽から給水を受けることができます。



◆防災情報

○防災フリーダイヤル

0800-8000-903 でガイダンス(12回線保有)。防災無線の放送内容に同じで無線内容の聞き漏らし時等に活用

○ラジオ・ケーブルテレビ

FM83.8MHz, J:COM デジタル 11ch;市は、災害時に調布エフエム、ケーブルテレビと協定し災害情報提供

○メール

c-bousai@sg-m.jp;調布市防災・安全情報メールにより気象・地震情報配信。緊急速報メール;調布市内の携帯電話ユーザーに多摩川氾濫情報配信

○テレビ

データ放送(NHK)

リモコンボタンを押し、エリアを選択するとデータ放送画面を視聴

◆ホームページを開設しました！

まだ完成形ではありませんが、会員の皆様との情報の共有化と迅速伝達のために、大町自治会の概要、組織案内、会則、活動報告等を掲載しました。

◆調布市大町自治会

◆<https://ohmachi.1net.jp/>



以上